

平成29年度 焼却施設の維持管理に関する記録

クリーンセンターまにわ

1 処分した一般廃棄物の各月ごとの種類及び数量

種 類		可燃ごみ(家庭系一般廃棄物及び事業系一般廃棄物、不燃ごみ破碎処理残渣)													
区 分		単位	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
1号炉	焼却量	t	280.1	251.5	98.2	260.4	68.8	71.4	95.2	287.3	124.6	265.2	96.5	0.0	1,899.2
2号炉	焼却量	t	139.1	115.5	284.8	135.7	330.1	290.9	258.0	40.9	327.1	82.3	199.6	317.3	2,521.2
合計焼却量		t	419.3	367.0	382.9	396.1	399.0	362.2	353.2	328.2	451.7	347.5	296.1	317.3	4,420.4

2 燃焼室中の燃焼ガスの温度、集塵機に流入する燃焼ガスの温度、煙突から排出される排ガス中の一酸化炭素の濃度

区 分		単位	管理基準値	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均値
燃焼室中 燃焼ガス 温度*1	1号炉	℃	800℃ 以上	908	910	911	912	912	915	910	911	905	914	915	－	911.2
	2号炉	℃		899	912	913	921	913	914	909	873	895	905	918	912	907.0
集塵機流 入燃焼ガ ス温度*2	1号炉	℃	200℃ 以下	169	169	169	169	169	169	169	169	169	169	169	－	169.0
	2号炉	℃		169	169	169	169	169	169	169	169	169	169	169	169	169.0
排ガス中 一酸化炭 素濃度*3	1号炉	ppm	30ppm 以下	3	2	2	1	2	2	2	2	2	3	3	－	2.2
	2号炉	ppm		1	2	1	1	1	2	1	3	3	3	3	3	2.0
備 考			測定結果数値は毎日の連続測定、記録による全ての日平均値の月平均値													

測定位置：*1燃焼室出口 *2集塵機入口 *3集塵機出口 別紙「クリーンセンターまにわ焼却施設維持管理状況測定場所」参照のこと

【用語解説】

ppm(パー・パー・ミリオン)は、100万分のいくらかであるかという割合を示す単位。主に濃度を表すために用いられる。「parts per million」の頭文字をとったもので、100万分の1の意。

3 冷却設備及び排ガス処理設備に堆積したばい塵の除去を行った年月日

区 分	1号炉	2号炉
冷却設備 (ガス冷却室)	平成29年12月1日	平成29年11月1日
排ガス処理設備 (集塵機)	平成30年2月19日	平成30年1月22日

4 排ガス中のダイオキシン類の濃度(1回/年以上測定)

区 分	法定基準値	管理基準値	単位	1号炉	2号炉
排ガスの採取年月日				平成29年7月27日	平成29年7月28日
結果の得られた年月日				平成29年8月28日	平成29年8月28日
ダイオキシン類濃度	5	0.1	ng-TEQ/m ³ N	0.000049	0.0004

採取位置：集塵機出口 別紙「クリーンセンターまにわ焼却施設維持管理状況測定場所」参照のこと

【用語解説】

1ng(ナノグラム)…10億分の1グラム

TEQ…ダイオキシン類の量を、最も毒性の強い2,3,7,8-四塩化ジベンゾパラジオキシン類の毒性等量に換算した量として表した符号

m³N(立方メートルノルマル)…気温0℃、気圧が1気圧の状態に換算した気体の体積

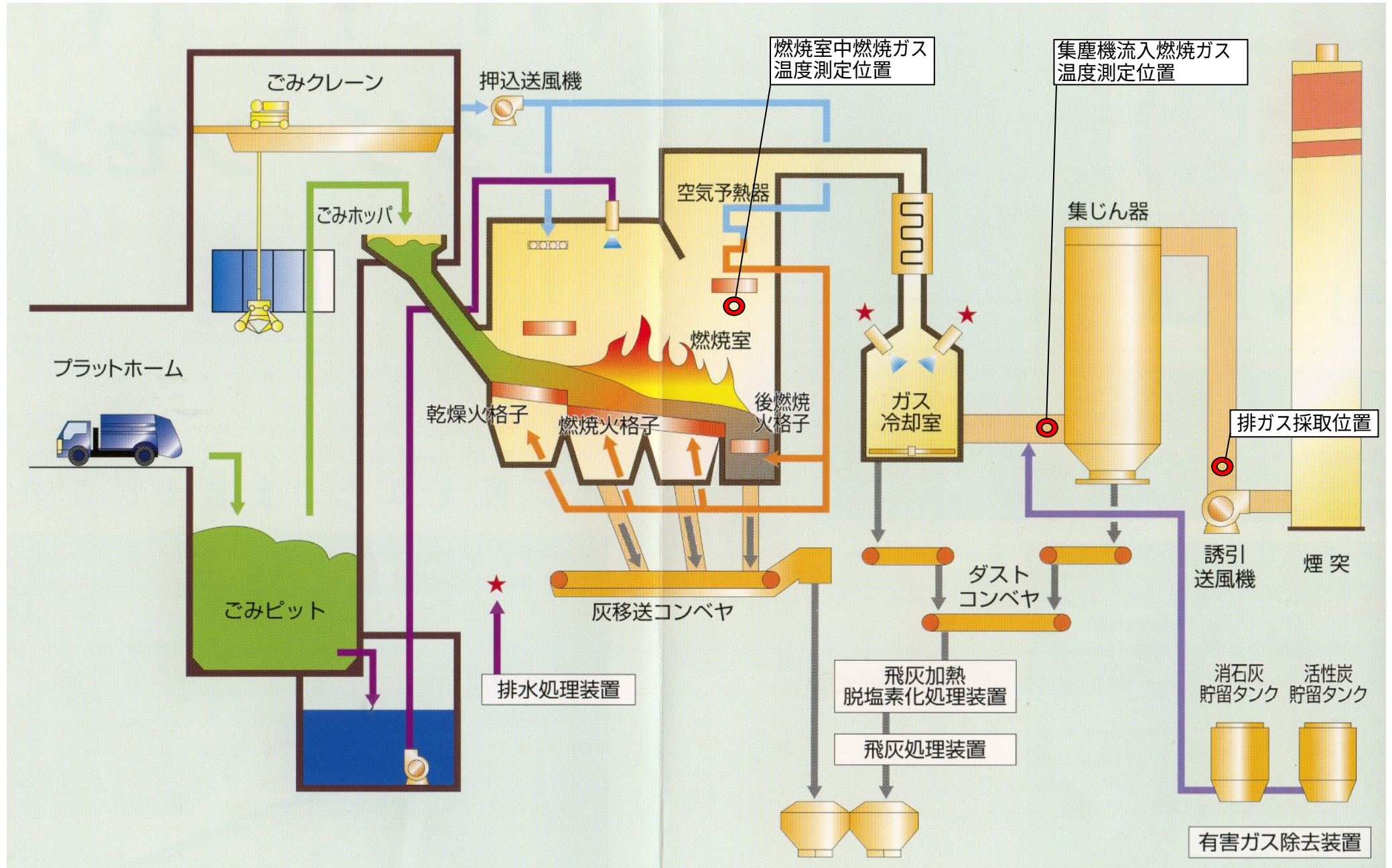
5 ばい煙量又はばい煙濃度(1回/6ヶ月以上測定)

区 分	法定基準値	管理基準値	単位	1号炉		2号炉	
				1回目	2回目	1回目	2回目
排ガスの採取年月日				平成29年6月8日	平成30年1月11日	平成29年6月8日	平成30年1月11日
結果の得られた年月日				平成29年6月26日	平成30年1月29日	平成29年6月26日	平成30年1月29日
ばい煙濃度	0.15	0.01	g/m ³ N	0.0011	0.00066	0.00096	0.00076
硫黄酸化物の量	K値 17.5	50※	ppm	1.9	0.7未満	0.7未満	0.7未満
窒素酸化物濃度	—	150	ppm	88	75	42	65
塩化水素濃度	700	100	mg/m ³ N	13	4.6	7.2	2.8

採取位置：集塵機出口 別紙「クリーンセンターまにわ焼却施設維持管理状況測定場所」参照のこと

※硫黄酸化物の基準値は、K値規制(地域規制)が総量規制のため、排出ガス温度、排出ガス量及び排出ガス流速により変化するため、管理基準値にはppm(濃度)を用いる。

クリーンセンターまにわ焼却施設維持管理状況測定場所



平成29年度 焼却施設の維持管理に関する記録

真庭北部クリーンセンター

1 処分した一般廃棄物の各月ごとの種類及び数量

種 類		可燃ごみ(家庭系一般廃棄物及び事業系一般廃棄物)													
区 分		単位	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
1号炉	焼却量	t	107.7	118.7	123.5	100.3	138.7	81.8	96.6	92.1	98.2	118.7	75.6	111.7	1,263.6
2号炉	焼却量	t	85.4	109.3	78.9	103.3	125.6	127.4	77.7	127.3	98.9	65.2	76.7	79.6	1,155.3
合計焼却量		t	193.1	228.0	202.4	203.6	264.3	209.2	174.3	219.4	197.1	183.9	152.3	191.3	2,418.9

2 燃焼室中の燃焼ガスの温度、集塵機に流入する燃焼ガスの温度、煙突から排出される排ガス中の一酸化炭素の濃度

区 分	単位	管理基準値	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均値
燃焼室中燃焼ガス温度*1	1号炉 °C	800°C以上	903	905	883	877	901	900	891	870	874	869	888	880	886.8
	2号炉 °C		902	902	893	889	904	919	881	880	877	869	870	891	889.8
集塵機流入燃焼ガス温度*2	1号炉 °C	200°C以下	180	181	179	180	180	181	179	181	180	180	180	180	180.1
	2号炉 °C		181	182	181	180	180	181	181	181	181	182	180	181	180.9
排ガス中一酸化炭素濃度*3	1号炉 ppm	30ppm以下	5	6	3	1	1	1	1	5	3	7	4	4	3.4
	2号炉 ppm		3	3	1	1	0	0	0	3	4	6	4	3	2.3
備 考		測定結果数値は毎日の連続測定、記録による全ての日平均値の月平均値													

測定位置：*1燃焼室出口 *2集塵機入口 *3集塵機出口 別紙「真庭北部クリーンセンター焼却施設維持管理状況測定場所」参照のこと

【用語解説】

ppm(パーツ・パー・ミリオン)は、100万分のいくらかであるかという割合を示す単位。主に濃度を表すために用いられる。「parts per million」の頭文字をとったもので、100万分の1の意。

3 冷却設備及び排ガス処理設備に堆積したばい塵の除去を行った年月日

区 分	1号炉	2号炉
冷却設備(ガス冷却室)	平成29年7月18日	平成29年7月18日
排ガス処理設備(集塵機)	平成29年7月19日	平成29年7月19日

4 排ガス中のダイオキシン類の濃度(1回／年以上測定)

区 分	法定基準値	単位	1号炉	2号炉
排ガスの採取年月日			平成29年10月18日	平成29年10月18日
結果の得られた年月日			平成29年11月22日	平成29年11月22日
ダイオキシン類濃度	10	ng-TEQ/m ³ N	0.0016	0.0022

採取位置：集塵機出口 別紙「真庭北部クリーンセンター焼却施設維持管理状況測定場所」参照のこと

【用語解説】

1ng(ナノグラム)…10億分の1グラム

TEQ…ダイオキシン類の量を、最も毒性の強い2,3,7,8-四塩化ジベンゾパラジオキシン類の毒性等量に換算した量として表した符号m³N(立方メートルノルマル)…気温0°C、気圧が1気圧の状態での換算した気体の体積

5 ばい煙量又はばい煙濃度(1回／6ヶ月以上測定)

区 分	法定基準値	単位	1号炉		2号炉	
			1回目	2回目	1回目	2回目
排ガスの採取年月日			平成29年5月12日	平成29年10月18日	平成29年5月12日	平成29年10月18日
結果の得られた年月日			平成29年5月31日	平成29年11月22日	平成29年5月31日	平成29年11月22日
ばい煙濃度	0.25	g/m ³ N	0.001	<0.001	0.002	0.001
硫黄酸化物の量	K値17.5	m ³ N/h	0.080	0.026	0.026	0.022
窒素酸化物濃度	250	ppm	76	100	76	74
塩化水素濃度	700	mg/m ³ N	38	51	6.3	1.6

採取位置：集塵機出口 別紙「真庭北部クリーンセンター焼却施設維持管理状況測定場所」参照のこと

真庭北部クリーンセンター焼却施設維持管理状況測定場

燃焼室中燃焼ガス温度測定位置

集塵機流入燃焼ガス温度測定位置

排ガス採取位置

ごみ投入所
プラントホーム
ごみ貯留場
スクリーン
ごみピットへ
2号内蔵機
ろ過貯留槽
ろ液戻りポンプ
ごみクリーン
投入ホッパ
押送風機
燃焼室
二次押込送風機
再燃バーナ
助燃バーナ
落下風コンベヤ
塵溜り
2号ホッパより
F4調整
スクラムコンベヤ
キレート剤
スクラム炭酸機
スクラム移送コンベヤ
塵溜りタンク
前油移送ポンプ
場内汚水
処理水
給水
排水処理設備
噴射水加圧ポンプ
大気排出
空気を供給
ガス冷却機
ガス冷却車送風機
有害ガス除去装置
バグフィルタ
CO₂計
誘引通風機
2号ガス冷却用熱交換器より
熱交換ダストコンベヤ
No.1ダストコンベヤ
ダストサイロ
キレート剤
霧状水
溜球機
燃焼灰
No.2ダストコンベヤ
灰バカ
No.1灰出コンベヤ
No.2灰出コンベヤ

ごみ	→
燃焼ガス	→
空気	→
焼却灰	→
ダスト	→
水	→
ガス冷却水	→
汚水	→
重油	→

ごみ	
燃焼ガス	
空気	
焼却灰	
ダスト	
水	
ガス冷却水	
汚水	
重油	

平成29年度 焼却施設の維持管理に関する記録

コスモスクリーンセンター

1 処分した一般廃棄物の各月ごとの種類及び数量

種 類		可燃ごみ(家庭系一般廃棄物及び事業系一般廃棄物、不燃ごみ破碎処理残渣)												
区 分	単位	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
1号炉	焼却量 t	147.2	236.1	131.7	195.1	299.0	195.0	209.2	156.6	259.8	186.7	152.1	201.0	2,369.5
2号炉	焼却量 t	194.2	127.5	256.4	208.0	121.7	193.9	193.7	207.8	146.7	171.6	139.7	196.2	2,157.4
合計焼却量		t	341.4	363.6	388.1	403.1	420.7	388.9	364.4	406.5	358.3	291.8	397.2	4,526.9

2 燃焼室中の燃焼ガスの温度、集塵機に流入する燃焼ガスの温度、煙突から排出される排ガス中の一酸化炭素の濃度

区 分	単位	管理基準値	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均値
燃焼室中燃焼ガス温度*1	1号炉 °C	800°C	945	946	939	916	940	926	924	924	927	901	904	919	926
	2号炉 °C	以上	943	924	932	898	911	913	900	901	884	816	888	946	905
集塵機流入燃焼ガス温度*2	1号炉 °C	200°C	189	190	190	188	189	190	190	189	189	189	189	189	189
	2号炉 °C	以下	190	189	189	190	190	190	190	190	189	188	186	188	189
2	1号炉 ppm	100ppm以下	19.1	29.7	29.5	26.2	18.5	28.3	27.8	42.6	35.6	43.4	34.7	37.9	31
	2号炉 ppm		20.1	34.9	23.4	26.3	19.6	31.2	37.8	48.3	50.1	50.9	37.2	42.8	35
備 考		1													

測定位置：*1燃焼室出口 *2集塵機入口 *3集塵機出口 別紙「コスモスクリーンセンター焼却施設維持管理状況測定場所」参照のこと

【用語解説】

ppm(パー・パー・ミリオン)は、100万分のいくらかであるかという割合を示す単位。主に濃度を表すために用いられる。「parts per million」の頭文字をとったもので、100万分の1の意。

3 冷却設備及び排ガス処理設備に堆積したばい塵の除去を行った年月日

区 分	1号炉	2号炉
冷却設備(ガス冷却室)	平成29年5月12日	平成29年5月17日
排ガス処理設備(集塵機)	平成29年5月15日	平成29年5月15日

区 分	法定基準値	管理基準値	単位	1号炉	2号炉
排ガスの採取年月日				平成29年7月13日	平成29年6月22日
結果の得られた年月日				平成29年8月22日	平成29年7月19日
ダイオキシン類濃度	10	5	ng-TEQ/m ³ N	0.066	0.066

採取位置：集塵機出口 別紙「コスモスクリーンセンター焼却施設維持管理状況測定場所」参照のこと

【用語解説】

1ng(ナノグラム)…10億分の1グラム

TEQ…ダイオキシン類の量を、最も毒性の強い2,3,7,8-四塩化ジベンゾパラジオキシン類の毒性等量に換算した量として表した符号

m³N(立方メートルノルマル)…気温0°C、気圧が1気圧の状態に換算した気体の体積

5 ばい煙量又はばい煙濃度(1回/6ヶ月以上測定)

区 分	法定基準値	管理基準値	単位	1号炉		2号炉	
				1回目	2回目	1回目	2回目
排ガスの採取年月日				平成29年5月16日	平成29年8月7日	平成29年7月7日	平成30年2月27日
結果の得られた年月日				平成29年5月23日	平成29年8月21日	平成29年7月13日	平成30年3月5日
ばい煙濃度	0.15	0.02	g/m ³ N	0.003	0.002	0.002	0.001
硫酸化物の量	K値17.5	50※	ppm	19	1.3	1.0	1.3
窒素酸化物濃度	250	200	ppm	47	40	36	29
塩化水素濃度	700	100	mg/m ³ N	77	1.7	1.4	1.8

採取位置：集塵機出口 別紙「コスモスクリーンセンター焼却施設維持管理状況測定場所」参照のこと

※硫酸化物の基準値は、K値規制(地域規制)が総量規制のため、排出ガス温度、排出ガス量及び排出ガス流速により変化するため、管理基準値にはppm(濃度)を用いる。

コスモクリーンセンター焼却施設維持管理状況測定場所

